

SpicyLibra 2024 使用に際して

2025 年 11 月 30 日
有限会社スパイシーソフト

SpicyLibra 2024 を使用していただくにあたり、SpicyLibraCS6 からの主要な変更点などをご説明します。

1. SpicyLibraCS6 との主要な機能上の違い

① 完全に 64 ビット動作のプログラムです。

したがって、32 ビット OS、32 ビット版 InDesign には対応できません。

② フレーム名付加用プラグインについては、基本的には同一機能となっております。ただし、SpicyLibraCS6 では、ダイアログを表示中にすべてのドキュメントを閉じて、そのままダイアログを表示していましたが、SpicyLibraCC2019/SpicyLibra2020/SpicyLibra2022 においては、ドキュメントが画面上からすべてなくなる場合には、ダイアログも閉じるようになりました。

なお、ドキュメントが閉じるとプラグインダイアログが閉じるとのタイムラグの関係で、ダイアログが閉じるタイミングが遅い場合、InDesign が落ちる可能性がありますので、できる限り、ドキュメントをすべて閉じる場合には、あらかじめプラグインダイアログを閉じておくことをお勧めいたします。

③ SpicyLibra の機能の違い

●QR コード、マイクロ QR コード、GS1 データバーコードにつきましては、使用するライブラリーを変更したのに伴い、設定できるパラメータが少なくなっておりますのでご注意ください。従来設定してある定義ファイルの値は、廃止機能の部分は無視されます。

また、QR コードにつきましては、画像部の四方の空白がなくなりましたので、流し込むフレームサイズには調整してください。

●SpicyTag にて、割注を使用する場合、割注内のデータがすべて半角データである時に、InDesign が落ちることがわかりました、InDesignCS6 以前にはなかったことですが、InDesignCC 版では、このような仕様になっておりますため、割注内のデータには全角文字を 1 文字でも挿入の上ご利用ください。

●扱える入力データファイル形式にて、SQL サーバー用 mdf ファイルの利用は不可となります

た。SQL サーバー2017 等新しい SQL サーバーでは、従来の mdf はアタッチして使用することができなくなったためです。

- ユーティリティにて、WaterMark 用のフォントで、小塚明朝 Pro を小塚明朝 Pr6N に変更しました、小塚明朝 Pro が同梱されなくなったためです。

- ユーティリティにて、CSV ファイルから Excel ファイルへの変換を行う場合、従来、Excel を利用していましたが、OpenXML 対応 ClosedXML モジュールを利用することといたしましたので、この処理を目的とするだけの Excel のインストールは不要となりました。

2. 従来の定義ファイルなどの扱い

- 定義ファイルはそのままご利用可能です。

しかし、InDesign テンプレートにつきましては、一度 InDesign2024 にて開き、上書きをし、InDesign2022 テンプレートファイルに変換の上ご利用いただく事で問題発生が少なくなります。

以上